

重点事業 平成17年度取組状況評価、平成18年度取組方針シート

事業名	不登校児童・生徒への相談、指導体制の充実
担当局・課名	教育委員会事務局 教育相談課
プランでの位置づけ	視点1 青少年の自立と成長を促す機会づくり 目標 社会参加への支援 重点的に取り組む事項2 青少年の職業意識や社会参加への関心を高め、社会参加を支援します。

事業の目的及び概要

不登校の予防に重点を置いた取組を行い、不登校児童生徒の増加傾向に歯止めかけ、一人でも多くの児童生徒が充実した学校生活を送れることを目的とします。

横浜市の不登校児童生徒数の状況は毎年3,000人を超え、ほぼ横ばい状態であるため、不登校の予防・対応事業は引き続き推進すべきものと考えます。

今後、施設・設備の充実や指導員の資質向上、活動内容を検討し、きめ細やかな対応とともに、NPOや民間教育施設との協働等をすすめます。

各年度の実績(概要)

16年度	不登校児童生徒の再登校や社会的自立支援に向け、2か所目のハートフルルーム(都筑)を開設しました。
17年度	学校カウンセラーを増員し、小学校における滞在型の相談を実施し、相談機能を充実しました。
18年度	
19年度	
20年度	
21年度	
22年度	

17年度の取組内容

17年度の目標: 不登校対策アクションプランに基づき、校内指導体制の確立や再登校支援の強化を図ります。 ハートフルフレンド・ハートフルスペース・ハートフルルームの運営を横浜教育支援センターとして一本化し、機能を充実させ、児童生徒の状況に応じた再登校の支援を推進します。			
17年度取組実績: 学校カウンセラー増員による教育相談体制の充実や教育支援センターの機能充実により、不登校児童生徒に対し、きめ細かな支援を行いました。			
・学校訪問相談数 : 14,699件(H17.11末現在) ・ハートフルフレンド訪問 : 767回:児童生徒63人:再登校8人(H17.12末現在) ・ハートフルスペース : 通室372人(H17.12末現在) 再登校実績は年度末調査予定 ・ハートフルルーム : 通級111人(H17.12末現在) 再登校実績は年度末調査予定 ・不登校予防ハンドブック : 年4回発行 ・不登校理解研修 : 年8回開催(教職員対象。うち2回は保護者も参加) ・親の集い : 年6回開催			
17年度予算額	17年度決算額	18年度予算額	(備考欄)
210,466 千円	[] 千円	208,748 千円	

“青少年育成”の視点からの事業の自己評価

(目標以上又は目標どおり達成)	(自己評価の説明)
(目標の7~8割程度達成)	不登校児童生徒に合わせた対応・支援の充実により、再登校への効果をあげています。また、教職員・保護者への支援や、ハートフルフレンドの積極的活用なども、不登校状態の改善につながっています。
(さらなる取組が必要)	

18年度の取組予定

平成16年3月に策定した「不登校アクションプラン」を、基本的には次年度も継続するとともに、学校へ向けて提案したさまざまな取組が、どのように実践されたかについて、把握し、2か年の経緯をふまえ有識者による検証を行った。魅力ある学校・学級づくりへの工夫、不登校へのチーム支援、幼保連携、保護者支援等を重点的に取り組んでいく。

・大学生や大学院生等を横浜教育支援センター事業にボランティアとして活用し、事業の効果的な運営を図り、再登校支援を促進する。

・再登校を支援するNPOや民間教育施設との行動連携を進め、不登校の児童生徒の再登校を促進する。

青少年対策推進本部 評価・方針

17年度成果をあげていた取組に加え、NPO団体や民間施設との連携を推進することにより、不登校児童生徒への指導体制がより充実するものと考えられます。